Q ブランクがあっても大丈夫ですか?

A 10年間のブランクがあっても、経験を活かしていきいきと働いている訪問看護師がいます。
ステーション内や外部の研修に参加してスキルアップすることもできます。

Q どのような経験が必要ですか?

A 数年の臨床経験があると基本的な看護技術を活かせるという面がありますが、経験年数や看護実践に特別な条件はありません。都内には、新卒の看護師を採用し、育成しているステーションもあります。

Q 子育て中でも働けますか?

A 子育て中でも働けます。ステーションには子育て経験のある看護師が多く、子育ての苦労もわかり、仕事と両立する方法も知っています。ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方に対応しています。

Q 一人で訪問するのは自信がない…

A 基本的な知識や技術の研修は、OJTで同行訪問をして行います。
慣れてきてから単独での訪問開始になります。経験を積んでからも、必要な時はメンバーがフォローをしています。

Q 夜間・休日の対応はありますか?

A 緊急対応を行っているステーションの場合は、夜間・休日の対応もあります。その頻度はステーションによって異なりますが、病棟の夜勤とは違い、基本的には当番看護師によるオンコール体制です。

訪問看護に興味をもったら…



東京都ナースプラザ

〒160-0023
東京都新宿区西新宿四丁目2番19号
東京都看護協会会館5階
電話：03−5309−2063
FAX：03−5309−2066
電子メール：np@np-tokyo.jp

一般社団法人東京都訪問看護ステーション協会

〒160-0023
東京都新宿区西新宿四丁目2番19号
東京都看護協会会館6階
電話：03−5843−5930
FAX：03−5843−5932
電子メール：info2026@tokyohoukan-st.jp

公益社団法人東京都看護協会

〒160-0023
東京都新宿区西新宿四丁目2番19号
電話：03−6300−0730
FAX：03−6300−0875
電子メール：tokankyo@tna.or.jp

東京都訪問看護教育ステーション事業

教育ステーション事業　検索

東京都福祉局 高齢者施策推進部 在宅支援課 介護医療連携推進担当
電話：03−5000−7560

2026.9

訪問看護

「Only One の看護」
めざせ訪問看護の世界

「こんにちは〜!」とドアを開けると、その方のためだけの大切なケアの時間が始まります。赤ちゃんから高齢者まで、住み慣れた地域で安心して笑顔で暮らしたい…そんな方々をささえるのが訪問看護師です。利用者様、ご家族、そして多職種の方々と協働し、人間と人間の関係を大切にしながら、その方らしい在宅療養生活を共に創りあげていきます。そこにはOnly One の看護を待っている素敵な笑顔があるんです。



ほ：訪問
な：ナース
と：東京

© 一般社団法人 東京都訪問看護ステーション協会
イメージキャラクター　ほなと

訪問看護師は医療と介護の専門職との連携を推進するために大切な存在です

地域包括ケアの実現のために重要な役割を担っています

ご利用者・ご家族の「その人らしい暮らし」を支えます

ご利用者やご家族と時間をかけて関わることで、その方の人生に触れることができたり、大切な時間を一緒に過ごすことができます。

看護の本質を追求できる場です

訪問中はご利用者とじっくりと向き合うことにより、ご利用者の意思を最大限尊重した究極の個別看護が実践できます。

ワーク・ライフ・バランス（WLB）が実現できます

ライフスタイルやキャリアアップのための多様で柔軟な働き方など、働きやすい職場環境を創りあげていくことができます。

地域の医療・介護の専門職をつなぐ調整役です

医師、理学療法士、ケアマネジャー、介護職等の専門職が関わる地域において、生活に即した支援ができるよう調整役として役割を発揮しています。

人材育成・支援体制が充実しています

安心して訪問看護が実践できるよう、看護ケアの状況判断に困った時は、先輩看護師や医師に相談ができます。

看護観が育ち、磨かれます

ご利用者の生活や人生に関わる貴重な経験を通して、人間観・人生観・看護観が醸成されます。

在宅生活の様々な工夫により創造性を発揮できます

ご利用者の生活状況に応じて、家にある限られた物を工夫、活用して看護ケアができるクリエイティブな仕事です。

看護専門職として成長できます

ご利用者やご家族から学ぶことが多く「生活をみる視点」や「状況判断力」、「多職種連携」など、看護の専門職としての役割を発揮することができます。

季節を感じながら仕事ができます

移動中に季節の移り変わりを感じることができ、リフレッシュしながらオン・オフを切り替えて次のケアに集中できます。